

研修会等参加報告書

令和2年3月19日

天童市議会議長 様

会派名 無会派
氏名 松田光也



下記により、会派において研修会等に参加してきましたので報告します。

記

研修会等名	第22期 自治政策特別講座 「2020年度の予算審議—まちづくりと自治体議会」
主催団体名	自治体議会政策学会
日時	令和2年2月10日(月)～2月11日(火)
会場・場所	KFC ホール2nd
全体参加者数	60名
内容等	<p>2月10日(月)</p> <p>第1講義 2020年度の地方財政、傾向と審議のポイント 宮崎雅人 先生(埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授)</p> <p>地方財政の仕組みと2020年度地方財政の傾向や問題点から、議会で審議すべきポイントにおいて、予算や決算書・財政から、議会人としての在り方を考える。</p> <p>第2講義 地域の暮らしを支える行財政システム—地方債・積立金の活かし方 武田公子 先生(金沢大学人間社会学域 経済学類教授)</p> <p>地域創生が本当に地域のためになるには、自治体議会での議論次第。自治体財政の過度な経費削減と積立金増加など歪んだ実態を正し、地方債を賢く使うこれからの財政運営を考える。</p> <p>2月11日(火)</p> <p>第3講義 長生きできる町を作ろう—健康格差社会縮小をめざして 近藤克則 先生(千葉大学教授)</p> <p>「まちの環境」が住民の長寿を決める。本人の努力だけでなく、環境にも左右される健康格差をなくす社会環境の整備の重要性について。</p> <p>特別研修 地域づくりと地方財政—実践から学ぶ活性化のヒント 沼尾波子 先生(東洋大学教授)</p> <p>地方のつながりを支える公共プラットフォーム構築と自治体の役割。地域づくりのヒントと住民の生活を守りつなげていく行財政運営について。</p>
市政の課題への参考等	議会での質問には、執行部局に「気づき」を促し、他自治体に引けを取らない行政を実施させようとする大きな意義がある。施策の問題点を指摘することにより、

	<p>緊張感が生まれる。議会の活性化につなげる必要がある。</p> <p>本市の地方債・基金運用について、過度の縮減と基金増嵩の問題点は、耐久性の長い公共施設建設の財源には不向きであり、ソフト事業、戦略的・集中的な事業に向いている。</p> <p>本市の健康寿命延伸に向けて、高齢者生活環境や健康状態の現状のデータにもとづく把握が必要と考える。</p> <p>これからの自治体は、地域の垣根を越えて、資源を賢く戦略的に活用し、個々の自治体がフルセット主義を廃し、連携中核都市間で課題の解決に臨む必要を感じた。人口減少と高齢化が進む中、自治体は、新しい公・共・私の相互間の協力関係を構築する「プラットフォーム・ビルダー」へ転換する必要がある。</p>	
	参 加 議 員	感 想 等
参加者の感想等	松田光也	<p>新型コロナウイルス感染症の出始めでありましたので、都内は外国人の数が少なく、いつもと違った感じでした。特に健康なまちづくりについての講義は、本市において今後、大きな施策であろうと感じてきました。</p>